

(個人用)

行政視察等報告書（個人用）

令和6年10月15日

知立市議会議員 様

報 告 者	神谷 定雄（篤心会）
日 時	令和6年10月9日（水）・10日（木）
視察（研修）場所	トーサイクラシックホール岩手
目 的	第19回 全国市議会議長会研究フォーラム
【概 要】 テーマ：「主権者教育の新たな展開」 2024年10月に、全国の地方議会議員や関係者が一堂に会する「第19回全国議長会フォーラム」が盛岡市で開催されました。私は昨日、早朝に花巻空港に到着し、地元の盛岡市議会と市からの温かい歓迎を受けました。開会式では、岩手県を代表する伝統芸能である「盛岡さんさ踊り」が披露され、会場のトーサイクラシックホールには文化的な雰囲気が漂いました。また、菅義偉元内閣総理大臣によるビデオメッセージが流れ、特別な幕開けとなりました。 このフォーラムは「主権者教育の新たな展開」をテーマに、地方議会が果たすべき役割や、次世代の政治参加を促進するための取り組みについて、各専門家の見解が披露されました。特に、若者の政治への関心と参加意識を高めることの重要性が強調され、将来の主権者としての自覚を育てるための教育の意義が深く議論されました。 【パネルディスカッションの内容】 「地方議会の課題と主権者教育」をテーマに行われたパネルディスカッションでは、政治学者や教育専門家、地方議会議員などが登壇し、次世代の主権者を育成するための課題や取り組みについて議論が行われました。各分野の研究者たちからは、若者の政治離れが進んでいる現状をどう捉えるべきか、またその解決策として主権者教育が果たす役割についてさまざまな調査結果が共有されました。	

特に印象深かったのは、若者に対して「政治は自分事であり、自分たちの行動で国や社会を変えることができる」という感覚をいかにして育むかが議論された点です。これにより、選挙時だけではなく、日常的に政治に関心を持つことで、長期的に日本の民主主義を強化する効果が期待できるとされました。

【主な教訓と今後の指針】

今回のフォーラムでの議論を通じて得られた最も重要な教訓は、主権者教育が単なる選挙に関する知識の啓発に留まらず、将来を担う若者たちの成長を促す包括的な教育活動であるという点です。この教育を通じて、若者が政治的責任を理解し、主体的に社会課題の解決に取り組むことが、日本社会の健全な発展に寄与するとの意見が一致しました。

特に、学校や地域コミュニティが一体となって主権者教育を進めることで、次世代に対してより強い政治意識と責任感を持たせることが可能になります。この考え方は、今後の地方議会の活動方針や地域社会における取り組みにも反映されるべきであり、地方の未来をつくる重要な指針となるでしょう。

【所感、知立市政への反映に向けた課題等】

今回の視察は、単なる情報収集だけではなく、自らの議会活動のあり方を深く考え直すきっかけとなりました。特に、地方議会が主権者教育にどのように関わり、どのように未来の日本を支えるかという視点からの議論は、非常に考えさせられるものでした。若者の政治参加を促進することが、地域社会の発展と民主主義の持続性に不可欠であるという点は、私自身も共感する部分が多く、今後の議会活動に積極的に取り入れていきたいと感じました。

第19回全国議長会フォーラムは、主権者教育に関する新しい視点や取り組みを学ぶ貴重な機会となりました。地方議会は、地域の未来を形作る重要な役割を担っており、主権者教育を通じて次世代の政治参加を促進することは、その責任の一環です。今回得た知識や見識を今後の議会活動や地域社会の発展に活かし、引き続き貢献していきたいと思います。

※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。

報告書は視察（研修）終了後1週間以内に提出してください。